

船橋市総合防災訓練反省会

10月27日に総合防災訓練の反省会が、市消防局5階講堂で開かれました。

この反省会は、防災訓練に参加した市内の各町会自治会が中心となり、関係機関及び我々連絡会を始め、医師会、赤十字奉仕団等が集まりました。連絡会からは、JA1QC会長、JA1PIK副会長が出席しています。

今年は、訓練形式の見直しの年に当たり、連絡会ではあらかじめ用意しておいた次のような回答を提出しました。

「市当局の通信訓練は5年間経過するも、通信機器の操作習熟訓練にとどまり、我々との連携に至っていない。

次回からは、更に一体化した訓練を目指し、計画の段

階から参画させて欲しい。」

実際に、我々が訓練に参加して感じたこととして、市の防災無線機の運用場所、避難所班長との連絡方法、我々の伝達する情報内容、情報の記録などの対策課題が見受けられます。これらについて、出きるだけ改善していきたいと考えています。

H15防災訓練参加者の内訳：参加町会数 338 / 767, 人員10919人、その他 1676人
(医療関係団体 261人、協力機関 586人 市側 829人)、合計 12,592人

平成16年度は、8月29日(日)を予定していますので、今日から参加できるように配慮して下さい。

JA1QC

第2回ネットワーク構築テスト結果

9月21日に行われた構築テストは、防災訓練の後でもあり比較的多くの参加者を得て盛況となりました。メインの430以外も50, 144, 1200でも活発な交信が聞かれました。

参加局21局、ログ提出局18局で87.5%でした。但し、ミスコールのままログを提出された方もあります。名簿を確認するなどして、ミスコールをなくすように心がけましょう

参加局21局

JA1QC, JA1VRZ, JA1XQC, JA6AZE, JH1APY, JH1DYW, JH1MQC, JH1TVY, JE1FTN, JF1XPH, JG1DVY, JG1EDX, JK1PIK, JL1GYB, JN1QKR, JO1GLR, 7L1FYS, 7L3UQW, 7M2AWK, 7N4WOU, JA1OQX

JA1OQX

第2回技術講習会＝自作品発表会

9月29日に行われた自作品発表会(自慢会)には、腕に覚えのある各局が、それぞれのアイデアを生かした自作品の機器を持って集合しました。

20点数の各作品は、展示ブースに並べられ、製作者が順に概要を発表しました。

発表の概要

1, フィルムケースの中で、LEDが順次キラキラ

光るアンテナ、シャワーヘッドのマイク

(JH1DYW)

2, 真空管式 144MHz送信機

(JA1QC)

3, 真空管式 50MHz 80W リニアアンプ

(JA1VRZ)

4, ICOM IC-T90の非常用通信改造(単3の2本から単1の2本に改造)写真用三脚を、利

用した アンテナ基台、アンテナ各種、高照度LEDランプ (JA1EDJ)
5, 自転車のホイールを利用したHF用マグネチックループアンテナ (マッチング部をステッピングモーターで駆動) (JK1TUJ)
6, PC用マウスに組み込んだ小型スタンドマイク (電子PTT回路付き)、50MHz用アンテナカップラ、VHF用3段アッテネータ (JK1PIK)
7, 高輝度LEDを利用した非常用ランプ各種、430MHz用电界強度計、 (JL1GYB)
8, 21MHz DSBトランシーバー+PLL VFO (JE1FTN)

9, 430MHz用プリントヘンテナ、高輝度LEDヘッドランプ (JS1IWA)
10, 実用的ダイレクトコンバージョン受信回路の検討実験 (JJ1GRK)

以上のような内容でしたが、ハムの原点である、手作りの楽しさを感じさせるものばかりでした。

残念なことに、ギャラリーが4名と寂しかったことで、もっとたくさんの方に見てもらい参考にして欲しかったことですが、次回を期待することにします。今回は、より多くの出品と見学者をお待ちしています。

JH1DYW

第1回移動運用報告

すばらしい秋晴れの10月19日、本年度第1回の移動運用は、房総の名峰鹿野山九十九谷展望台にて行われました。

東船橋駅周辺に集合したメンバーは、9時過ぎにスタート、357号から16号で南に向かい、途中のコンビニで各自弁当を仕入れ、木更津から127号で君津市に入り、岩富から山道に入り11時30分に展望台に到着しました。早速昼食を採り、移動局を設営、それぞれに交信を開始しました。

各局はHFから430まで、中には傘で日陰を取り昼寝を楽しむ局もあったが、何局かは稼いだようでした。

船橋からは、JA1XQC, JH1DYWがお声がけくださり、応援してくれました。

帰りは早めにスタートし、途中の土産屋で色々買い物をするなど、楽しい一日を過ごして、17時過ぎには自宅に到着しました。



当日の参加局

JA1QC, JA1VRZ, JA6AZE, JK1PIK, JL1GYB, JA1ETB,

JA6AZE

第3回技術講習会=アンテナ製作会

今回の技術講習会は、430MHz用携帯小型3エレ八木アンテナの製作をテーマに、11月16日に飯山満公民館で行われました。

まず講師のJK1TUJ局から、各エレメントの

設計寸法の説明があり、早速作業に取り掛かりました。エレメントの材料は大型トランスからほぐしたφ2の銅線を、電ドルで撚りを与え銅の加工硬化で、丈夫にすることからはじまり、輻射エレメント

は両端をU字型に折り返して、長い輪の様な形に曲げて作りました。

給電部はP基板材を小さく切って、銅箔をカットして電極を作り、輻射エレメントと同軸ケーブルを半田付けして、ブームにタッピングビスで取り付け、各エレメントも同様に位置を合わせて固定、最後にBNCコネクタを同軸ケーブルに半田付けして組み立てが完了、性能測定と調整に入りました。

計測はJL1GYB局のアンテナアナライザを用い、性能は概ね良好で同調点に差があるものの、SWR値は1.0に近い値が出ました。調整は輻射エレメントの線の間隔を狭めたりして満足な結果が得られました。

持ち手を含め長さ60cm幅は40cm弱で、目方も140gと超軽量小型で、防災訓練などで威力を発揮するものと思われます。

参加者は12名で、中には使い慣れない工具に戸惑ったり、半田付けに手を焼く方も見受けられましたが、殆どの方がアンテナを完成させました。最後に全員が自作したアンテナを掲げて記念撮影をして解散しました。

材料の銅線や同軸ケーブル、BNCコネクタなどは講師のJK1TUJ局が、ブームの骨材のアル

ミのチャンネルはJA1QC局の提供で、工具などは各局の持ち寄りで互いに貸し借りして、楽しく作業しました。



出席者

JA1QC, JA1EDJ, JA1ETB, JA6AZE, JH1DYW, JE1FTN, JK1PIK, JK1TUJ, JL1GYB, 7L2NWB, 7L3UQW, 7N4WOU.

JK1PIK

YUX文化祭開かる

11月21日に船橋市役所の文化祭が行われ、JR1YUXも参加して開催されました。

当日は18時30分よりJARL副会長JA1AYO丹羽さんの特別講演があり、アマチュア無線に関する最近の話題や情勢について、大変興味あるお話がありました。

聴衆はYUXメンバーをはじめ、YNAメンバーも出席して大勢の方が参加され、盛会でした。

また、恒例の工作コーナーはJK1FEM今井さん提案の、船橋防災無線(68.835MHz)受信機

の製作がFMラジオの組み立てキットを使っでの改造で行われる予定でしたが、時間の都合で残念ながら完成品の展示と

改造方法の説明のみとなり、希望者はパーツを持ち帰りました。

このような機会を通じ同じ連絡会のメンバーとして、YNA, YUXの交流を深めて行きたいと思います。

JA1QC

第2回移動運用=中止

11月30日の移動運用は、前日からの降雨により残念ながら中止しました。次回に宜しく！ JA6AZE

第3回ネットワーク構築テストのお知らせ

本年度第3回めのネットワーク構築テストを、下記要領で実施致しますので、より多くの皆様の参加とログの提出を期待します。

毎回のことですが、ログの提出が無い方があります。構築テストの参加はログの提出が終わって終了します。

折角QSOしたなら中途半端はやめて、必ずログの提出をお願いします。

- 1) 参加資格：市内在住の当連絡会員局、但しYUX会員局は市外在住局も可
- 2) 日時：平成15年12月21日（日）JST 10:00～11:00
- 3) 場所：自宅、近隣指定避難所、その他
- 4) 設備：固定機、ハンディ機、車載機
- 5) 周波数：432.76±40KHz, 1295.76MHz, (50, 144については適宜設定のこと)
- 6) 得点：自宅固定器からは、1交信につき1点、
屋外でハンディ機からは1交信につき2点、
屋外ハンディ機からの運用で自地区および隣接地区以外の地区、ならびに市外在住のYUX会員との1交信に対し3点

7) 部門：50, 144, 430, 1200MHz（バンドが異なれば同一局OK）

8) ログ提出先：担当JA1OQX阿部幸司 郵送、
FAX, E-mail: jalogx@jarl.com

9) ログ提出期限：平成16年1月15日 必着

10) 交信方法：

①呼び出しはCQフェアネットを前置する

自局のコールサインはフォネティクスコードを使用する

②応答は信号レポート（メリット）および自局の運用地区名+町名+指定避難所名を告げる

*ネットワーク構築テストは、アマチュア局なら皆一度は経験がある、コンテスト形式を用いた、楽しみながら出来る交信訓練です。また自宅や担当避難所からの交信可能範囲を把握するなどの、有事に備えてのデータを得心することも目的のひとつです。

ネットワーク構築テストは、唯一賞品の出るイベントですので、是非参加してみませんか？

JA1OQX

第3回移動運用と第4回技術講習会を合同実施

今年度第3回の移動運用は、第4回技術講習会と合同して行う事になりましたので、お知らせします。

今回の移動運用は「連絡会名物」恒例の手賀沼湖畔での芋煮会ですが、移動の途中に若干回り道して技術講

習会として、航空自衛隊送信所（柏市豊四季）の送信用アンテナ設備の見学を行います。

見学した設備を話題にして、定評の美味しい鍋を突付いて盛り上がりましょう。

日時：2月22日（日）集合＝出発9:00 JST。無線誘導：8:30から432.76 Or downで、

集合場所：白井市役所 駐車場（木下街道 国道16号交差点手前 NTT白井のY字路を右折、すぐ右側）

航空自衛隊送信所：国道16号若柴交叉点を左折、約1.5km マーミーマート駐車場から徒歩2分。

移動運用先：国道16号を大島田から船取線で北上、手賀大橋手前のラーメン屋を右折、すぐ左の梨園を左折、
突き当りを右折して暫く行った辺の空き地。運用は各自のスタイルで、免許の範囲内で

参加について：どちらかのみ参加も可、家族同伴もOK、移動運用参加の方は1家族1k円、差し入れ大歓迎！
アンテナ設備の見学には低倍率の双眼鏡があると良いでしょう。

申し込み：JA6AZE説田までメールかFAXで、またはオンエアミーティングでJK1PIKまで、

JH1DYW . JA6AZE

船橋市防災フェアのお知らせ

平成16年度船橋市防災フェアの日程が決まりました。

当連絡会では公式行事として参加する予定で準備中です、詳細はオンエアーミーティングなどでお知らせします。

日 時： 平成16年1月25日（日）12:00～16:00 JST

場 所： 新京成電鉄 北習志野 駅前通り商店街（午後から歩行者天国の予定）

連絡会の行事予定： 連絡会およびアマ無線関係のPRビラの展示、公開運用、その他PR活動

*近隣在住メンバーの参加をお願いします。 参加される方はJN1QKR 増沢まで連絡下さい

JN1QKR

入会 退会 その他

新入会員：11月にお二人が入会されました。今後の活躍を期待します。

JF6FET 白根 岩夫さん（西部 藤原）、

JA1IWO 小野 義雄さん（東部 習志野台）

JK1PIK

JJ1YNA ホームページより

* JARL千葉県支部との相互リンクがつながりました。これにより、どちらのサイトからも接続出来る様になり、さらにその先にも広がります。どうぞご利用下さい。

* サーバートラブルにより、トップページから先

にに進めない状態が在りました。幸い管理者の尽力で早急に復帰しましたが、何かトラブルを発見された方は、広報担当JK1PIKにお知らせ下さい。

JK1PIK

映画とデジカメ

JA1VRZ

映画は30年前から比べれば見る人が減少した。いくらテレビで邦画の釣り馬鹿日記とか、フーテンの寅さんや洋画の地獄の黙示録を見ても、映画の迫力は感じられない。テレビはまったくの別物でしかない、鑑賞したとは言えない。一番強く感じたのはジュリアンドリュース主演の、サウンドオブミュージックのラストシーンで、オーストリアからアルプスを越える場面だった。山の大きさは映画でしか表現できない。映画制作者もテレビでなく映画で見て欲しいと願っているだろう。お金を払って映画館へ行きましょう。本物の映像は払うだけの価値が十分にあります。

デジタルカメラも同じようなことが感じられる。テレビやインターネットの写真も同じで、経済的価値でしか物を見なくなったからだと思う。そこには大きな落とし穴が潜んでいる。本質はどこにあるのかが忘れられ、何が見たいか、表現したいかよりお金を使わないことに主眼が置かれてしまう。デジタルカメラの表現できる露出の幅は狭い、画素数は少ない、グラジェーションも荒い。リバーサルフィルムに比べたら条件が極めて悪い。それでも経済的価値を優先して、自分の撮りたい花とか景色とか彼女の美しさの表現を犠牲にしてしまう。残念ですね。

防災一口メモ

もしも、明日大地震が発生しても慌てない為に、今日から準備しましょう。

▼今日からはじめる震災対策

- サバイバルバッグの準備、中身のチェック（電池の容量チェックや、賞味期限）
- 家族の防災会議（避難の方法や場所を確認 171 伝言ダイヤルもチェック）
- お風呂の残り湯は捨てない（シャワーだけの方や、風水を愛する方はポリタンクに水を用意しましょう。また、電気温水器のタンクも役立ちます。

- ガラスの破損に備えて、寝室に靴やスリッパの準備をする
- 救急箱の準備・止血の方法や怪我の対処法
- 家具などの固定、位置の確認
- 消火用具の準備
- ペットの防災対策を事前に決めておく事
- 女性は護身用具を準備
- 子供の為の対策（哺乳瓶や離乳食・おやつ）の準備
- 貴重品の取り扱いを再確認
- お薬手帳の準備

▼お家のチェック

- ガラスの破損に備え防犯・防災フィルムを貼る
- 耐震診断の実施
- 免震装置の設置
- 地名からその地域の地層などの危険度を探る
- 保険の選択

防災関係資料の入手先

<http://allabout.co.jp/family/bosai/closeup/CU20031013A/index.htm>

J S 1 I W A

編集後記

この秋のことですが、懐かしいPC-98が受注生産を中止したそうです。これで、メーカーの製造スタッフも解散となり、歴史の幕を閉じるそうです。私は今でも、98ユーザーの一人であり、愛着もあり、なんだか寂しい気分になります。

時代の流れにつき、仕方ないかもしれませんが、アマチュア精神を発揮できるマシンは、これしかありませんね。

新年を迎えるにあたり、昔を懐かしみ、やれなかったことを思い出して、トライしてみるのも面白いかもしれません。パソコンは賞味期限付きのようですが、アマチュアは、古いものをいかに活用するかが勝負です。来年度も、各局さんのユニークなアイデアを期待しています

J S 1 I W A

連絡会ニュース第26号の編集を終わりました。年4回発行で26号ですから、第1号発行から早いもので、6年半も経ったことに成ります。

編集は創刊前号から第4号、第7号までをJ A 1 B

WAさんが担当、連絡会ニュースの基礎を築かれました。その後JK1PIKが引き継ぎ、第9号からJS1IWAさんが参加して下さり、現在まで続いています。

この間ワープロ編集からパソコン編集に変わり、写真の掲載、段組の変更、YNAホームページへの掲載と段々に進化して来ました。

印刷された紙面ですと気にならないのですが、従来の2段組ですと、パソコン画面では1ページに2回スクロールする必要があり、読み辛いと指摘を頂き苦心の結果、新聞形式の1記事2段式にしたのが現在の紙面です。

ワープロも2台使い潰し、現在はワードで編集しています。困ることはワープロ時代のデータが使えなくなってしまうことで、同じ悩みを持つ人は世の中はかなり多いと思うのですが、データ互換性に対するメーカーの姿勢も、気に入らないところです。皆様はどうしていらっしゃいますか？

J K 1 P I K

発行：船橋市アマチュア無線非常通信連絡会・船橋市アマチュア無線クラブ J J 1 Y N A

「連絡会ニュース」編集部